

5～6月りんご生産情報



令和3年5月
JA つがる弘前
岩木地区営農係

薬剤散布につきましては、引き続き黒星病の重点防除時期です。薬剤散布は散布間隔・量・降雨前散布を徹底しましょう。

今後は摘果時期となります。品種構成の半分を占めるふじには、摘果剤を積極的に散布し効率よく作業を進めましょう！

☆ふじの生態

りんごの生態は昨年に比べ4日程度早く推移し、平年より5日早い状況です。

5月17日現在

地域	開花日		満開日		落花日	
	本年	昨年	本年	昨年	本年	昨年
五代	5/3	5/7	5/8	5/12	5/13	5/15
百沢	5/9	5/10	5/12	5/15	5/16	5/20
吉川	5/7	5/11	5/11	5/15	5/15	5/21
大秋	5/12	5/14	5/17	5/19	5/	5/27
りんご研究所	5/3	5/7	5/8	5/12	5/13	5/14

☆病害虫防除

黒星病対策のため散布間隔は10日以内を遵守し降雨前散布を徹底しましょう！

回数 (散布量)	散布時期 (散布日)	薬剤名 及び調合順序	倍数	1,000ℓ 当り薬量	防除上の注意		
5 (420ℓ)	ふじの 落花20日後 (6月上旬)	デランフロアブル クレフノン カルマッチ	1,500倍 100倍 770倍	333×2本 10kg×1袋 1.3kg×1袋	落花10日～20日の期間はクワコナカイガラムシの防除適期です。発生の多いところではアプロード1,000倍で胴木洗いを行いましょう。		
6 (500ℓ)	ふじの 落花30日後 (6月中旬)	ラビライト水和剤 サイアノックス水和剤 クレフノン カルマッチ	500倍 1,000倍 100倍 770倍	1kg×2袋 500g×2袋 10kg×1袋 1.3kg×1袋	有袋栽培では、すす病対策として薬剤散布後5日以内に袋掛けを実施しましょう。5日以上経過した場合はオーソサイド等で実洗いを行いましょう。		
7 (500ℓ)	6月下旬	【無ボルドー方式】			【ボルドー方式】		
		薬剤名及び混合順序	倍数	1,000ℓ 当り薬量	薬剤名及び混合順序	倍数	1,000ℓ 当り薬量
		ジマンダイセン水和剤	600倍	1.67kg×1袋	ICボルドー412	50倍	5kg×4袋
		モスピラン顆粒水溶剤	4,000倍	250g×1袋	モスピラン顆粒水溶剤	4,000倍	250g×1袋
		エコマイト顆粒水	2,000倍	250g×2袋	～ボルドー液散布時の目安～		
		カルマッチ	770倍	1.3kg×1袋	①6/20以降 ②毛ぶるい期以降 ③肥大25ミリ以上		

●ボルドー方式の場合、カルシウム剤の加用は必要ありません。

●薬剤散布は年使用回数や収穫前日数には十分に注意しましょう。

☆薬剤摘果

管内、平場ではふじの満開2週間後頃は5月22日頃からとなります。品種構成の半分以上を占めるふじには摘果剤を積極的に散布し作業効率のアップにつなげましょう。効果が現れるまで10日～14日程度かかるので、その間に他品種の摘果などを計画的に進めましょう。

品種	散布時期	薬剤・倍数・散布量
ふじ・王林・早生ふじ・トキ・シナノスイートなど	満開後2週間後頃 ふじでは中心果の横径10mm前後	ミクロテナボン 1,200倍 350ℓ/10a以上 (展着剤加用)
ジョナゴールド	満開後3週間後頃 ジョナでは中心果の横径15～16mm	

注意が必要な品種：
つがる、世界一、ジョナゴールド、
紅玉、ぐんま名月、星の金貨など

☆摘果作業

王林・つがるの一つ成り摘果を行ってから、その他品種の仕上げ摘果を行いましょう。

●4月中・下旬の凍霜害により一部で結実不良や障害果が見られます。

●一つ成り摘果は、果実形質の良しあしが判然としない「落花10～15日後頃」までとし、判別が可能になった時点で仕上げ摘果に切り替えましょう。

●生育期間の短いつがるや着果量が多い傾向になる黄色系品種は早めに摘果作業を行いましょう。

